

海を満喫していただくため、
日々、海水浴場の管理に取り組んでいます。



吉里吉里海水浴場管理人
いさお
木下 勇夫さん



浪板海水浴場管理人
みちお
宇夫方 亨雄さん

お客様が快適に海水浴を楽しめるように、砂浜をならしたり、危険なものがないか、見回りをしたりしています。また、キャンプを楽しむ人には、安全に過ごしてもらうために、火の元の確認などを呼びかけています。

海にたくさん人が集まるととても気持ちがいいです。特に、家族連れのお客さんが多く見られます。海がきれいな吉里吉里海岸です。テントの予約も受け付けています。

今年も多くの人に来てもらいたいと思っています。

海岸清掃やトイレ清掃など、お客さんが気持ちよく海水浴を楽しむことができるように取り組んでいます。

浪板の管理事務所には、テントの予約のほか、天候や波の状況などの問い合わせがよくくるので、昼夜を問わず、対応できるようにしています。テントは、松林の中にあるため、涼しく快適に過ごすことができますので、キャンプを楽しむ人も多いです。

海水浴以外にも、サーフィンなどのマリンスポーツを楽しむことができます。ぜひ、この夏を浪板海岸で満喫してください。

海水浴の情報やキャンプなどのお問い合わせは、それぞれの管理事務所にご連絡ください。

吉里吉里海岸海水浴場管理事務所 ☎44-2511

浪板海岸海水浴場管理事務所 ☎44-3811

INTERVIEW

Photo ~海で出会ったステキな笑顔~



幼い頃からスケボーをやっていた杉本さんがサーフィンに魅せられたのは13歳のとき。知人に勧められたのがきっかけでした。サーフィンを極めようと、19歳でサーフィンの先進地カリフォルニアへ。うまくなりたいう気持ちは大きかったね。そのためには盛んで技術も進んでいるところで経験を積みたかったと杉本さん。日本に帰国した杉本さんは23歳のとき、神奈川県湘南で超難関のJP S A公認プロ資格を取得。その後、地元釜石に戻ってきました。サーフショップ「K-SURF」を浪板海岸に構えたのは35歳のとき。今年で8年目になります。「浪板海岸の波は安定していて安全。海も砂浜もとてもきれい。この環境でサーフィンに携わりたいて胸が躍ったね」と当時を振り返ります。

大槌町長杯浪板海岸サーフィン大会も今年で8回目を数えました。ショップの人たちが主催しているもので、毎年町内をはじめ、県外からも参加者が訪れるほど人気の大会となっています。サーフィンは他のスポーツほど世間に知られていないんだよね。そのためか、サーフィンがでなくなってしまう海水浴場も見えてきた。サーフィンとは



サーフショップ「K-SURF」代表
杉本 浩さん

魅力いっぱい海水浴場は、
誰もが楽しめる素敵な場所

どんなスポーツなのかをいろんな人に知ってもらいたかったし、サーファーが集う場として守りたいと思っただ。軌道にのって毎年開催できることが嬉しいよ」と目を細めます。杉本さんをはじめショップの人たちは、海水浴期間中、ボランティアで海水浴場の監視などにも携わっています。また、4月から9月までの第2日曜日には、海岸清掃を実施。15年以上、この清掃活動は続けられています。そこには、海水浴場をこよな

く愛する杉本さんたちの思いが込められています。「海にくる人は、町内よりも町外の人が多いね。町外からは、こんなにきれいで楽しめる海がないから楽しみにしてくるんだよ。割と海に近い人は、いつでも来れるからか遠方に出掛けてしま。海はリフレッシュできて誰もが楽しめる素敵な場所。やっぱり町内の人が海にきて、活気を生み出してくれると嬉しい」と期待を込めて話していました。



海水浴場を

海水浴場の魅力などについて話を伺いました。

語る